

著者：駒橋輝圭 (komahashi teruktaka) 2006/02/03 09:41



この作品は、[クリエイティブ・コモンズ・ライセンス](#)の下でライセンスされています。

第1問

A 問1 (a)photographs, (b)ecolological なので、②が正解。

問2 (a)political, (b)tecnólogy なので、④が正解。

B 問1 「だめになっちゃうわ」という文で、もっとも重要な情報は、ruined「台無しにされる」という語なので、これを強く発音する。

問2 正式な疑問文の形はとっていないが、疑問詞を用いた疑問文であり、疑問形容詞の what「どの」が強く発音される。

問3 これも疑問詞を用いた疑問文ではあるが、「他のみんな」が天気予報を調べたのに対し、「私」は調べていない、と対比をしているので、対比部分となる、I「私」が強く発音される。

問4 ジャニスが自分の買う傘の特徴を述べている文であり、その特徴を最も具体的に表す語である yours「あなたの」が強く発音される。

【全訳】

ジャニス： ああ、やだ、雨が降っているわ。信じられない！これ新品のセーターなのよ。

(1) だめになっちゃうわ！

トム： いや、そうはならないよ。心配いらないよ、ジャニス。僕が傘を持っている。あそこの店まで歩いて行けばいい。

ジャニス： (2) どの店に歩いて行くですって？ああ、角にある店のこと？

トム： そうだよ、そこには安い傘が売ってるんだ。

ジャニス： あら、ありがとう、トム。傘を持っていないのは私だけね。他のみんなは天気予報を調べたのね。(3) なんで私は調べなかったのかしら？

トム： 僕はわざわざそんなことしないよ。

ジャニス： だけど、あなたは傘を持っているじゃない。

トム： そうさ、どうしてだかわかるかい？それは折り畳めて僕の学校鞆の中に入るんだよ。

ジャニス： それはすばらしいアイデアだわ！(4) 私もあなたのような傘を買うわよ。

第2問

A 問1 「今すぐ出発しなければなりません。さもないと、社会科の授業に遅刻してしまいますよ。」 文脈より、③ otherwise「そうでなければ、さもないと」が適切。① instead「代わりに」、② therefore「したがって」、④ accordingly「従って」。

問2 「鈴木さんは健康のために喫煙をやめた。」 ④ for the sake of～「～のために」。

問3 「その問題を解くことは、私たちが考えていたよりも難しかった。」 文脈から「私たちが考えていたよりも」となるべき。thanは接続詞としても、前置詞とし

- でも用いられるが、② **our thinking** や③ **our thoughts** を比較対象にしてしまうと、「問題を解くこと」と「私たちの思考」を比較することになってしまう。比較対象は「私たちがその問題を解くのに必要と考えていた（難易度）」なので、**than** 以下は **we had thought (it would be)** であるべき。よって、①が正解。
- 問 4 「もし喉の痛みが悪化したら、すぐに診察してもらいなさい。」 **have** は 5 文型 (**have O C** の形) をとるが、**C** には原形不定詞、過去分詞、(ときに現在分詞) をとる。**O** と **C** には主述関係が成り立つべきで、**O** の **it = throat** 「喉」なので、「喉」は **checked** 「チェックされる、検査される」という関係であるべき。よって過去分詞の④ **checked** が正解。
- 問 5 「どのようにして、東京の夏は以前よりも暑くなったのですか？」 ① **come about** 「生じる、起こる」。
- 問 6 「今話すことが都合が良くないのであれば、折り返し電話をいただけますか？」
convenient 「便利な」は物事を主語にとり、決して人を主語にとらない。よって②が正解。
- 問 7 「この夏はむしろ海辺に行きたい。もう山は十分だよ。」 ② **would rather do ~** 「むしろ [どちらかというと] ~したい」。
- 問 8 「よい先生は、学生に一部の物事を自分たちで発見させてあげる。」 **allow O to do ~** 「**O** が ~ することを許す、**O** に ~ させてあげる」の形で用いるので、③が正解。
- 問 9 「私たちは、私たちの家に関して多くの問題に見舞われた。最終的には、私たちは引っ越して出て行くことを決めた。」 ① **in the end** 「最後には、最終的には」という表現。
- 問 10 「今朝は天気がよかったので、公園まで歩いて行った。」物理的距離を表すので、① **far** 「遠方に、へ」を入れて、**as far as ~** 「~まで、~と同じ距離まで」とするのが適切。
- B 問 1** 「薄めたらどう？」というノリコの発言を受け入れた後の発言で、うしろに「どうぞ」とノリコが言っているので、2 「ミルクを渡してくれるかな？」が正解。
ジョン：日本のコーヒーは僕には濃すぎるよ。
ノリコ：お湯かミルクを足して薄めたらどう？
ジョン：オーケー。 ミルクを渡してくれるかな？
ノリコ：はい、どうぞ。
- 問 2 チャールズがジョイスに電話しなかったことについて、ジョイスは、「何があったの？」「また携帯電話なくしたの？」と二つの質問をしている。これらに答える発言になるので、4 「ただ忘れていたんだよ」が正解。 **slip one's mind** 「忘れる (<記憶からすり抜ける)」
チャールズ：昨夜電話できなくてごめんね。
ジョイス：何があったの？また携帯電話なくしたの？
チャールズ：ただ忘れていたんだよ。本当にごめんね。
ジョイス：次は忘れないでね。

問3 「忙しいですか？」というトモコの質問に答えるスミス氏の発言で、うしろにトモコが「ありがとうございます」といっているのが、2「いや、お入りなさい」が正解。

トモコ：すみません。忙しいですか？

スミス氏：いや、お入りなさい。

トモコ：ありがとうございます。いくつか質問をしたいのです。

スミス氏：もちろん。どうぞ聞いてください。

C 問1 (Taking a warm) bath may help you sleep (better.) help O (to) do ~ 「O が～することを助ける」から、may help you sleep が一続きになると考えられる。take a bath で「入浴する」という表現になるので、warm 「温かい」の後は bath 「(お風呂への) 入浴」であることは明らか。

問2 (New information about diet) shows us that what many people (think is incorrect.) show O(=人) that ~ 「O に～ということを示す」という形で書けば良いことがわかる。what は関係代名詞の what 「～なこと・もの」として用いることができるので、what many people think で「多くの人々が考えていること」というかたまりで、that 節内の主語として用いることができる。

問3 (Children of six) and under are not permitted to use the swimming pool unless (they are with an adult.) permit O to do ~ 「O が～することを許す」の受け身の形 be permitted to do ~ を用いることが分かり、are not permitted to use ~ が一続きになることが分かる。「使う」ものは何か考えれば the swimming pool が use の目的語になることは明らか。空所後に主語＋動詞～と文章が続いていることから、空所の最後には接続詞である unless ~ 「～でない限り」が入る。ここまで分かれば、under の使い方は、(数字) + and under 「(数字) 以下」という使い方であることが分かる。この表現は特に「～歳以下」という時によく用いられる。

第3問

A (26) 空所の前でインドでは象の鼻の位置は重要ではないと述べ、空所の後で、メキシコでは上を向いているべき、と空所の前後で、2国における象の鼻の位置について対照的に述べている。よって、④「対照的に」が正解。(27) 空所の前では、象の鼻が上を向いていると幸運を家の中に保つとあり、空所後には、3頭の象を玄関に向かうように置くと最も大きな幸運をもたらすとある。よって、空所の前後では象に関して幸運だと考えられていることを付加的に述べていることになる。よって、①「さらに、それに加えて」が正解。

【全訳】象の像は、インドとメキシコの両方において、幸運の象徴であるが、いくつかの興味深い差異がある。インドでは鼻の位置は通常重要でない。象の彫刻は、その鼻が上を向いているかも下を向いているかもしれない。(26) 対照的に、もしメキシコ人の家族に象の彫刻をあげるならば、鼻は上を向いているべきである。鼻が上を向いた象は幸運を家の中に保つと考えられている。(27) さらに、メキシコの家々の玄関のドアに向かうように置かれた3頭の象は最も大きな幸運をもたらし、したがって、家族を

安全で幸せに保ってくれると思われている。

- B 問 1** 指示語が指すもの、ディスコース・マーカー、抽象から具体説明への論展開から配列を決める。問 1 空所まではのど当てマイクロフォンの説明がされている。そして、並べる 3 つの文で、それよりも進歩したシステムを紹介することになる。まず、のど当てマイクロフォンと比較してそれよりも進歩した **a more advanced system** 「より進歩したあるシステム」と新しいシステムを紹介する、C. がくる。B. の **The system** 「そのシステム」は C. の **a more advanced system** を指すものなので、C. の後にくる。B. はそのシステムがどんなものかを説明する文である。A. の **such a system** 「そのようなシステム」は、システムの具体的内容が説明された後に来ないといけないため、B. より後ろに来ることになる。以上より C～B～A の順になる。
- 問 2** C. の **However** 「しかしながら」という逆接のディスコース・マーカーから、空所までの攻撃的な性質と C. の静かでシャイであるという部分が逆接でつながれることになる。A. の **this shyness** 「このシャイさ」は C. の **shy** を指すものなので、C. の次に A. が続く。A. はシャイさが不活発さや鬱状態という悪い状態につながってしまうことがある、という内容。その悪い状態を解消するため、動物園の管理者たちが計画を考えだした、という展開になるので、B. の **therefore** 「したがって」という結果を導くディスコース・マーカーがつなぐのに適している。また、空所後にビデオを見ることについて述べており、**this plan** 「この計画」という語もあることから、B. が最後になるのが適切であることがわかる。よって、C～A～B の順になる。

【全訳】

問 1 のど当てマイクロフォンは、普通の音声の振動を、空気を通してではなく、肌を通して直接拾うものであるが、高速道路にいるオートバイのメッセンジャーが本社と連絡を取らなければいけない時のように、非常に騒々しい状況において便利である。さて、NASA の科学者たちがのど当てマイクロフォンよりも進歩したシステムを開発した。そのシステムは、私たちがだまって読書したり考えたりしている時に用いる「内部音声」を拾うのに十分なほど敏感である。このようなシステムは、私たちの心を読むことができるようになってしまうのでは、と一部の人が心配しているが、現在の段階では、それはいくつかの単純な言葉しか理解できない。少なくとも現在のところは、私たちのプライベートな思考は安全である。

問 2 ゴリラは人間に類似する点を多く持った社会的動物である。威嚇されたとき、オスのリーダーが、通例、胸を叩くことや、危険に対して短い突進などを含む、攻撃的な誇示行動によって自分のグループを守ろうと試みるかもしれない。しかしながら、ゴリラは通常、静かで、シャイでさえあり、安定した仮定集団で暮らす動物であることが研究によって示されている。動物園では、このシャイさが時に、不活発さや鬱状態に発展してしまうことがある。したがって、ロシアの一部の動物園管理者たちが、ゴリラたちに野生生活のビデオを見せることでより広い人生経験を与える計画を思いついた。テレビやビデオを見ることは、人間にとって有害であるときどき言われるが、

この計画がゴリラに「人生についてもっと考え」させるかもしれない、と管理者たちは考えている。

- C (30) **however** があるので、前の内容と逆接関係。本文では、衛生仮説について主に述べられているが、この文は他の要素もアレルギーになりやすさに関わっているかもしれない、というもの。また、空所⑤の後ろに **Thus** 「したがって」とあり、その後ろに衛生仮説だけが唯一の説明となるとは確信できないという主旨の記述がある。よって、⑤にいれると **however** の逆接関係も、**Thus** の結論を導く関係も適した論理関係になる。(31) **The same is true of** ～ 「～に関しても同じことが言える」とあることから、前の内容と付加関係にある。また、**pet** という語から、犬や猫の毛という記述がある第3段落に入ることが分かる。文脈から③の後ろの **Such children** は (31) の **children** を指すと考えないとおかしい。よって、③に入る。(32) 第2段落の **are exposed to** ～, **substances that can cause allergies, natural immunity** などの表現と、**exposure to** ～, **allergy causing substances, natural protection** が類似表現であることから、第2段落に入ると考えられる。また、**Simply put** 「簡潔に言えば」とあるので、前の内容を簡潔にまとめている、もしくは言い換えていることになる。よって、②に入れるのが適切であることが分かる。

【全訳】過去 30～40 年間に於いて、アレルギーに苦しむ子供たちの数の莫大な増加が見受けられたが、科学者たちは今でもそれに対する説明を探している。一部の科学者は空気汚染の増加をその原因としているが、アレルギーは都市部の子供だけでなく、概して空気汚染がはるかに低い田舎の子供の間でもありふれたものであることも分かっている。現在広く支持されている、アレルギー増加に対する説明は、いわゆる「衛生仮説」である。基本的な考えは、きれいすぎる環境で育った若い子供たちは、アレルギーを発症する危険性がより高い、というものである。現在、人々は過去においてよりもより頻繁に入浴をし、衣服を洗濯する。そしてまた、掃除機のおかげで、家は以前よりもホコリがすくない。これらすべての変化の一つの結果は、人生の初期段階において、子供たちはより少ないアレルゲン-アレルギーを引き起しうる物質にしかさらされないということであり、このことは、彼らの体がそれらに対する自然な免疫力を作り上げることができないということを意味する。簡潔に言えば、アレルギーを引き起す物質にさらされることは、それらが発達することに対する自然な防護にとって必要なものである。より小さい家族への傾向はまた、若い子供たちが仮定でより少ないアレルゲンにしか出くわさないことも意味する。実際、兄や姉がいる子供たちの方がよりアレルギーに対する抵抗力を持っていることが分かっている。ペットとともに暮らしている子供たちについても同じことが当てはまる。例えば、そのような子供たちは非常にありふれた猫や犬の毛に対するアレルギーを発症させる可能性がはるかに低い。科学者たちは、人生の初期段階により広範囲のアレルゲンにさらされることが、子供がより強い免疫力を発達させるのに役立つということに合意している。しかしながら、遺伝、家庭収入、そして、親の教育レベルですら、子供がどれくらいアレルギーに苦しみやすいかの一端を担っているかもしれないことを示唆するデータもある。よって、衛生仮説は重要な研究分野ではあるものの、私たちはまだ、清潔さに注目を向けすぎ

ることが、アレルギーの被害者の数の莫大な増加に対する唯一の説明であると確信することはできない。

第4問

A グラフの **All Regions** 「全ての地域」は全国の値を表している。いくつかの値が与えられているが、黒で表される、合計だけに注目すれば3つは特定できる。第2段落第4文に「兵庫県は、その割合（＝全体の割合）に関しては、全国の典型であるように思われた」とあるので、黒が全国の値に近い **X** が兵庫である。第2段落第6文前半に「山梨県の割合は、鹿児島県の割合と同じくらいであった」とあることから、**Y** が山梨である。第3段落第1文に「東京都に住んでいるひとは国全体よりもボランティア活動への関わりが少ないように思われた」とあるので、全国の値よりも合計値が全国よりも低い **Z** が東京である。よって、④が正解。

B 問1 '1983年に、日本では…人のうち一人がボランティア活動に参加した' 第1段落第5文、後半に「20パーセント」とあるので、④「5」が正解。

問2 '2001年に、山梨に住んでいる人は、鹿児島に住んでいる人よりも…についてより認識していたようだ' 第2段落最終文に「鹿児島県の7.4パーセントと比べ、ボランティア活動の10パーセント強が地域社会の安全に焦点を当てたものであった」とあるので、③「地域社会の安全」が正解。

問3 '著者は、東京に住んでいる人々は…ではないかと推測している' 第3段落第4文に「大都市に住んでいる人々は、自分たちを個人個人と見なし、地域社会の一員とは見なししていない、ということかもしれない」とあるので、④「独立しすぎていて地域社会の事柄に興味を持たない」が正解。

問4 '本文によれば…' 第4段落第2文に「日本は、国連が2001年を「ボランティア国際年」にすることを後押しする推進力であった」とあるので、③「日本はボランティア国際年の確立に向けて大きく貢献した」が正解。

【全訳】「神は自ら助くる者を助く」とベンジャミン・フランクリンは言った。我々はこの古いことわざに含まれるメッセージに慣れ親しんではいるが、私たちがお互いを助け合わなければいけないという事実は変わらない。そして、それが今日何億人もの人が行っていることである-すなわち、ボランティア活動である。2001年に、日本市民の28.9パーセントが奉仕活動をした。この数字は、ボランティアという概念が、より魅力的なものになっていることを示唆している。なぜなら、1983年に行われた、そのテーマについての同様の調査により、20パーセントのみの人が何らかのボランティア経験を持っていることが明らかになったからである。そうであったとしても、その割合は、市民の50パーセント以上が何らかのボランティア経験を持っている、アメリカやイギリスの割合よりも低かった。差異は国内にも見てとることができる。下のグラフは、2001年における日本の4つの都道府県間のボランティア活動に関する地域的变化を示している。上記のように、日本人の地域社会奉仕活動への全体の参加率は28.9パーセントだった。その年には、兵庫県は、その割合に関しては、全国の典型であるように思われた。最も割合の高い県は鹿児島県で、40パーセント以上の人が何ら

かのボランティア経験をしていた。山梨県の割合は、鹿児島県の割合と同じぐらいであったが、ボランティア活動の種類のこととなると、好みが異なった。すなわち、鹿児島県の 7.4 パーセントと比べ、ボランティア活動の 10 パーセント強が地域社会の安全に焦点を当てたものであった。東京都に住んでいるひとは国全体よりもボランティア活動への関わりが少ないように思われた。実際、全体の割合は、日本の全都道府県の中で、2 番目に低かった。さらに、国家の首都（である東京）は地域発展の割合が最も低かった。大都市に住んでいる人々は、自分たちを個人個人と見なし、地域社会の一員とは見なしていない、ということかもしれない。あるいは、おそらく、彼らには、ただ単に近隣の人たちのことを考えている時間がないのかもしれない。日本政府は、ボランティア活動を促進するシステムを構築する努力をしつづけている。実際日本は、国連が 2001 年を「ボランティア国際年」にすることを後押しする推進力であった。国家間および国内の差異はかなり長い間続くであろうが、この重要な活動のための政府支援により、より多くの人が自分の近隣の人々および地域社会を助けるよう促されることが望まれている。

第 5 問

- A** (1) 早く食べ過ぎ、というジェイやユキの指摘に対する発言で、空所後に早く食べてしまった言い訳をしているので、B。「おい、かんべんしてくれよ」が適切。
- (2) オーウェンは妹の車に傷がある、と説明しており、空所は、エラの「彼女は引っ掻き傷直した？」という質問の直後にあるので、その質問に答えることになる、A。「いや、まだだよ」が適切。
- (3) 空所は、車が置いてある位置についてのオーウェンの説明を受けてのユキの発言なので、C。「十分簡単に聞こえるわね」が適切。以上より③B～A～Cが正解。
- B** オーウェンの 8 番目の発言、第 2 文で、「左側、つまり運転席の側にいくつかのひどい引っ掻き傷がある」とあり、同発言の最終文に「姪のテディー・ペアーが前の助手席にある」とあることから、⑥が正解。
- C** オーウェンの 8 番目の発言、第 3 文で「緑の階」に停めてあると言っており、10 番目の発言で、エスカレーターを降りたら右に曲がる、11 番目の発言で、そうすると出口に正面を向く、出口まで行き、そこで左に曲がる、最後の列まで行きまた左に曲がる、その列の最後の方の右側にある、と説明している、①が正解。
- D** ③ 「オーウェンの車は修理が必要なので、オーウェンは、その日は妹の車を借りた」オーウェンの 5 番目の発言で、「今日は自分の車に乗ってこなかったんだ。エンジンが故障してて、それで、妹が彼女の車を貸してくれたんだ」と言っているので一致。⑤ 「ジェイ、ユキ、そしてエラはオーウェンの新しい持ち物を彼の妹の車に持って行く」ジェイの 2 番目の発言で、「(車まで) 僕たちが持って行ってあげるよ」とあり、その後オーウェンは、車の位置を説明し、ジェイの最後の発言で、「君の持ち物を僕たちにおくれ」と言っている。この話の展開から一致することがわかる。

【全訳】4人の大学生の友だちが午前中のショッピング後に昼食を食べ終えようとしている。

オーウェン：すばらしいサンドイッチだったね。

ジェイ：ええと、君はあまりに早く食べたものだから、味わえなかったということが驚きだよ。

ユキ：彼の言う通りだわ。噛むことさえした？

オーウェン：（1）おい、かんべんしてくれよ。僕はおながすいていたんだよ。それに僕はあと数分で仕事に行かなければいけないんだ。だから急がなきゃいけないんだよ。

ユキ：うん、そうね。あなたは仕事しなければいけないんだよね。それらの箱やショッピングバッグを全部持って行くつもりなの？1つ言うと、そのステレオセットはとても大きいわよね。

オーウェン：だけどとても安かったんだ。それに完璧にイケてるんだ。見つけて本当にうれしいよ。君らはすばらしいと思わないかい？

ユキ：ええ、そう思うわ。だけどあなたの店にはあまりスペースがないじゃない。働いているあいだ、それ全部を保管できる場所はあるの？

オーウェン：んーと、ないと思うなあ。もっと早くそのことについて考えればよかった。なぜならこの持ち物全部を車に持って行くことができたから。だけど今じゃ時間が無いよ。

ジェイ：僕らが持って行ってあげるよ。僕は君の車がどんなのか知っているし。

オーウェン：ありがとう。そうしてくれたら本当に助かるよ。だけど、実は、今日は自分の車に乗ってこなかったんだ。エンジンが故障してて、それで、妹が彼女の車を貸してくれたんだ。

ユキ：彼女の車の種類は何？

オーウェン：えっと、えっと…

ジェイ：覚えてないの？

オーウェン：えっと、それは白だよ。そうだ、それに4つ車輪がついてる！

ジェイ：冗談はよせよ。君はただ単に平均的な駐車場にあるほとんどの車を説明しただけじゃないか。それよりもっと多くの情報をくれなければだめだよ。そうでないと助けてあげられないよ。

オーウェン：そうだね。えっと、それには左側、つまり運転席の側にいくつかのひどい引っ掻き傷があるよ。赤の階すぐ上の、緑の階の北駐車区に停めてある。驚くべきことに、鍵がかかってない。そして、僕の姪のテディー・ベアーが前の助手席にある。

彼らの友だちのエラが化粧室から戻ってくる。

オーウェン：ねえ、エラ君は僕の妹の車を知ってるよね？

エラ：ええ。彼女は引っ掻き傷直した？

オーウェン：（2）いや、まだだよ。それじゃあ、どこに停めてあるか説明させて。駐車場へ入っていくエスカレータを降りたら、右に曲がって。

ジェイ：ちょっと待って、それは出口に向かう方向かい？

オーウェン：えっと、出口に正面を向くことになるね。出口のところで、左に曲がる。そ

れから最後の列まで進んで行って、もう一度左に曲がる。彼女の車はその列の最後の方の右側にあるよ。その反対側のエレベーターの付近に障害者用の駐車スペースがあるよ。

ユキ：（3）十分簡単に聞こえるわね。

ジェイ：オーケー、君は仕事に行かないとまずいよ。君の持ち物を僕たちにおくれ。

オーウェン：どうもありがとう。そうだ、車を離れる前に鍵をかけておくれよ。僕の新しいステレオを盗むチャンスは誰にも与えたくないからね！

エラ：問題ないわ。また後でね。

第6問

A 問1 'なぜ青年と彼女の妹は小さなプールを作っていたか?' 第6段落第2文後半, so that 以下に「少しの間魚が泳ぎ回のを見ることができるよう」とあるので, ③「彼らは魚が泳ぐのを見たかった」が正解。

問2 '母親と彼女の子供たちは, ピールさんに会ったときどこに向かっていたか?'

第8段落第2文に「道を歩いて町まで戻らなければならないと決心した」とあるので, ②「最も近い町へ」が正解。

問3 'ピールさんは3人が医者のところに行くのをどのようにして助けたか?' 第11段落第2文の hop in 「車に(ひょいと)乗る」が分かれば, その「彼は僕たちに乗り込むようにと言って」という部分からわかる。またそれが分からなくても, 次の第12段落第2文に病院で治療を受けた後に待合室にピールさんがいたことから推測できる。①「彼は自分のトラックで彼らを医者のところへと連れて行ってくれた」が正解。

問4 '青年は, サラがピールさんの隣人だと発見したあと, なぜその話をしようと思ったのか?' 第13段落第4, 5文から, 直接の理由は, ピールさんに自分の手はちゃんと治って, 大学でギターを専攻できていること, そのことを感謝していることを伝えてもらいたいということが読み取れるが, それだけでなく, サラにピールさんが自分にくれたことを知ってほしかったということも理由として考えられる。よって, ①「彼は自分の人生における大切な経験を共有したかった」が正解。④「彼はギターを教えてくれたことをピールさんに感謝したかった」感謝はしたかったが, ギターを教えてくれたことが原因ではないので, 不適。

問5 'サラはカフェテリアにいた若者から何を学んだか?' 第2段落第1文に「時に, 最も予期せぬ時および場所で, 私たちは, その人に対する見方を変える, 人に関する何か新しいことを学ぶ」とあり, 最終段落最終文に「私は彼のことを今では新しい目で見ている」とあるので, 青年の話聞いて, ピールさんに対する印象が変わったことが読み取れる。よって, ①「彼女は自分の子供の頃の印象が間違っただけであることに気づいた」が正解。

B ① 'サラの両親は娘に隣人のことをうるさがらせて欲しくなかった。' 第1段落第3文に「彼のことをそっとしておくように私に言った」という記述があるので一致。

⑦ 'サラと青年は両方ともピールさんを知っていたが, 友達になることはなかった。'

最終段落第 1 文に「この話を私にしてくれた学生には二度と会わなかった」とあるので一致。

⑧ ‘ピールさんは、青年がギターを弾くことを可能にさせる手助けをしてくれた。’

第 10 段落～第 13 段落の内容から、ピールさんが手を怪我した青年を病院に連れて行く手助けをしてくれたことが読み取れ、その結果として第 13 段落、第 4、5 文にあるように、青年の手は治り、大学でギターを専攻することができていることがわかるので、一致。

【全訳】 私が自分たちの小さな町であるローズモントで育っている間、私は常に、自分の隣人であるピールさんのことを奇妙で、幾分怖い老人だと思っていた。彼はいつも私と私の遊び友達に、彼の庭と彼の古いトラックに近づくな、と怒鳴っていた。私の親はピールさんについて決して多くを語らなく、彼のことはそっとしておきなさいとだけ言ったので、私には、彼が不愉快な老人以上の何かであると信じる理由がなかった。

しかし時に、最も予期せぬ時および場所で、私たちは、その人に対する見方を変える、人に関する何か新しいことを学ぶのである。そのようなことが、去年、故郷から 100 マイルも離れた僕の大学で僕に起こった。

ある日、私はカフェテリアにいて、私の故郷についてクラスメイトと話をしていた。突然、私たちの隣に座っていた学生が、話を遮り言った、「君、ローズモント出身だって言った？ピールという名前の老人を知っているかな？彼は古い青のトラックに乗っていたんだけど。」

「もちろん知っているわよ」と私は答えた。「彼は私の隣人なの、彼のことを知っているの？」

「知っているよ！なんて偶然なんだ！」とその学生は言い、私にある話を始めた。彼は、大学のあるサニーデールに住んでいて、7年前のある日、彼と、彼の母と、彼の妹が、私の故郷の近くの山で 1 日を過ごそうと決めたのだ、と私に言った。「僕たちは早朝にローズモントへの列車に乗って、それから、そこから山へとバスに乗らなければならなかったんだ、」と彼は言った。

彼と彼の妹は、岩を使って山の小川に小さなプールを作り始めた、と彼は言った。「僕たちは、僕たち 3 人が、稚魚を川に再び逃がしてやる前に少しの間それが泳ぎ回るので見ることができるよう、稚魚を捕まえてそのプールに集めたかったんだ。」

彼がプールの壁に岩の一つを配置していたとき、突然、彼の妹がはからずも彼の左手の真上に大きな岩を落としてしまった。その岩は彼の指を骨まで切って、ひどい傷を作った。「とても痛かったし、ひどく見えたよ、」と彼は言った。「お母さんが僕の手をタオルで包んで、医者を見つけないといけないと僕たちに言った。」

しかし、町へ戻るバスはもう 4 時間の間来ないことになっていた。3 人は道を歩いて町まで戻らなければならないと決心した。しかし、それも 1 時間以上かかることであった。「僕の母は勇気を持つようにとぼくに言い続けていたけど、彼女が本当に心配していたことが僕には分かっていたよ。僕たちはみんな怖かったんだ。」

ちょうどそのとき、1 台の小さな青いトラックが彼らの前へ道をやってきた。

「お母さんは手を振って叫び始めて、トラックは止まった。彼女は何が起こったか

を説明し、老人の運転手に、医者に会うために僕たちを町まで連れて行ってくれるか頼んだ。」

しかし、その男は彼女に、医者は町を出ていて、その地域の他の唯一の医者はローズモントの逆側のもう 30 マイルも離れたところにいる、と言った。「彼は僕たちに乗り込むようにと言って、トラックの中のバケツに僕の手に使え氷があると行った。」

その学生は話を続け、医者のところまでの道のりについてはあまり覚えられなかった、と私に言った。しかし、彼がようやく指を包帯で巻かれ、医者から歩き出たとき、ピールさんは母と妹と一緒に待合室で座っていた。

「彼は僕たちが家に帰る最終電車に乗れるように僕たちをローズモントまで車で送ってくれると言った。帰り道で、彼は、彼には孫はいないが彼の隣に住んでいる家庭にはサラという名前の僕と同じぐらいの年齢の娘さんがいるので、お母さんがどのように感じていたに違いないか分かっていた、と私たちに言った。おそらく、君がサラに違いないんだよね。ピールさんにまた会ったら、僕は音楽を専攻しているって言ってくれないかな。ギターをやっているってさ！僕の手は全く持って大丈夫だよって。」

「そうするわ、」と私は答えた。

私たちの大学は大きく、私はこの話を私にしてくれた学生には二度と会わなかった。しかし、私はピールさんには再び会ったのだ。私は彼のことを今では新しい目で見ている、彼みたいな隣人を持っていることをうれしく思っている。